



コロナ対策も
コチラから

ForumK

新政権発足特集



自民党香川3区支部長 衆議院議員
内閣府副大臣（経済安全保障等担当）

大野敬太郎

□観音寺事務所
〒768-0022 香川県観音寺市本大町1797-2
TEL:0875-23-1231 FAX:0875-25-9539
E-mail:kanonji@keitaro-ohno.com

□丸亀事務所
〒763-0082 香川県丸亀市土器町東1-129-2
TEL:0877-21-7711 FAX:0877-21-7701
E-mail:marugame@keitaro-ohno.com

□東京事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1211号室
TEL:03-3508-7132 FAX:03-3502-5870

宇宙資源法の必要性を説く大野宇宙海洋特別委員会事務局長（当時）。右は小林鷹之宇宙法制PT座長（当時）一現経済安全保障担当大臣



党風一新の会による総裁選候補者との意見交換会（党改革を訴えて）

菅義偉前総理の退任表明後に実施された党総裁選で、岸田文雄新総裁が誕生した。新内閣で、大野支部長は経済安全保障や防災等を担当する内閣府副大臣に任命され、直後の第49回総選挙で4選を果たした。改めて決意を伺う。

■政治の信頼と党改革
聞き手：8月初旬頃から政権運営に混乱が見え、国民の政治に対する信頼が揺らいだ。中堅若手を中心に信頼回復のための仕組み作り（党改革）を訴える「党風一新の会」が設立された。その中心的な役割を担ったと聞く。

大野：中堅若手十人前後で意見交換として始め、断続的に会合を開いた。改革提言を出す方向で検討していたが、最後には自らの手で改革しようとの話になった。そして党のガバナンス改革を骨格として、あるべき総裁選の姿などを、メディアを通じて訴えた。

説明不能な政局は信頼を失う。我々の思いは、国民に開かれた政治の実現だ。説明責任が最重要課題だ。政治は全てが説明可能にはならない。しかし説明可能性を高める仕組みが必要だ。我々が、今回は派閥の縛りからの解放を求めたのも、ガバナンスのためであり、開かれた政治のためだ。岸田総裁は総裁選で最初に党改革を訴えた。大いに共感している。



岸田内閣の副大臣人事にて



岸田総理・小林大臣と共に内閣官房経済安保法制準備室立上げ

■経済安全保障
聞き手：経済安全保障を所管する内閣府副大臣に任命された。まずは決意を伺いたい。

大野：国際秩序が劣化しているが、デジタル化や高度技術の進歩、国際分業とサプライチェーンの深化や、安全保障技術の裾野の拡大などにより、国際社会は過去にない程リスクを抱えている。コロナや米中対立などでそうしたリスクが顕在化した。世界的に経済的側面の安全保障を確保する重要性が指摘されている。半導体や必須医薬品の安定供給、軍事転用可能な技術の流出、経済的外交圧力などに備える仕組みが必要だ。岸田政権の最重要政策である以上に、国際社会の必須課題だ。実は着任前から党新国際秩序創造戦略本部で、小林鷹之事務局長（当時）（現大臣）の下、事務局次長として戦略策定に相当な時間をかけて携わった。副大臣として小林大臣を全力で支え、国際秩序の維持強化に努めたい。

岸田文雄政権発足

大野敬太郎 profile



大野敬太郎 WEB
http://keitaro-ohno.com/

《略歴》昭和43年11月1日生まれ。さる年さそり座O型。丸亀在住・本籍豊浜。座右の銘は先憂後楽。好きな作家は塩野七生と司馬遼太郎。坂出附属中（ブラバン）・丸亀高校（テニス・器械体操）・東京工大卒・同大学院修士修了、後に東京大学博士号取得。富士通研究所、米カリフォルニア大学バークレー校客員フェロー、東京大学産学官連携研究員、大臣秘書官、議員秘書などを経て自民党衆議院議員候補者公募に応募。自民党香川3区支部長就任。2012年、第46回総選挙にて初当選。現在当選4回。
《これまで》政府では防衛大臣政務官。党では副幹事長として党運営に携わる一方で、安全保障・外交・財務金融・産業・科学技術イノベーション・知的財産・宇宙・航空・農業・社会的事業など多くの政策立案に従事。衆議院では、地方創生・外交・安全保障・財務金融委員会を、議員連盟では、人口減少対策、農村基盤整備ため池小委員会、和の住まい議連、保険・証券議連、量子技術推進議連、サービサー議連等の事務局を、また議員外交は、フランス・イスラエル・ヨルダンなどの議員連盟の事務局を務める。
《現在》内閣府副大臣（経済安全保障、防災等）として岸田政権を支える。



震災対応で官邸との連絡の打ち合わせ

■防災・国土強靱化
聞き手：二之湯智大臣の下で防災や国土強靱化等の危機管理も所管すると聞いた。防災分野における我が国の課題は何か。

大野：国家の危機管理は最重要視している。何があっても安心安全をお届けできる体制の構築に緊張感をもって取り組みたい。



岸田総理と9都県市合同防災訓練

防衛大臣政務官在任中に得た現場での経験を最大限生かしたい。課題は、防災デジタル化と対処の迅速化や合理化を政策面で確立すること。それに加え、防災上の発災シナリオは経済安保戦略上のリスクシナリオの一部に入るので両者がシームレスに接続されるよう俯瞰的に取り組むたい。



深夜の震災対応で内閣府廊下を往来する大野氏

大野：年初に3か月以上費やして党で提言したワクチン開発戦略は、今回所掌する内閣府健康医療本部の所管だ。自分で提言(党)し自分で受け取る(政府)形だ。また、領土、宇宙、海洋、科学技術、日本学術会議も入る。いずれも党内で政策立案に携わった。熱意をもって取り組んでいく。



産業界の決意を示した月面産業ビジョンを井上大臣(当時)に申し入れ

宇宙資源法と月面ビジネス。聞き手：宇宙資源法成立などに向けて、小林大臣とタッグを組んできた。宇宙利活用の可能性は。大野：有人宇宙飛行を達成し、アポロ計画が発表されてから丁度六十年が経った。そしてスペースシャトル初飛行から四十年、国際宇宙ステーションから約二十年が経つ。一方、日本では、宇宙を科学探査のみならず産業や安全保障として捉えた宇宙基本法の制定から十三年だ。この十三年は宇宙空間にとって劇的な変化だ。

最近ではSpaceXという民間企業によるクルードラゴンが有名だが、宇宙開発利用が政府主導から民間主導に移った時代だ。実際に、宇宙ベンチャーは世界で干社以上、リスクマネーは一兆円以上、市場規模は四十兆円以上と言われている。明らかに百兆円市場が見えてくる。日本でも、一昔前までは考えられなかった資金調達を市場から実施している企業も多数あり、未確認ながら日本の宇宙ベンチャーは四十社を超えていると言われる。この流れは、地方創生への活力にも成る。実際に、大分県、山口県、茨城県、北海道大樹町、和歌山県串本町は、自治体自ら宇宙開発利用の旗を振り、産業振興を行っている。宇宙を意識した地方活性化に躍起だ。

政府や議会も民間の活動を後押しするルール作りを進めてきた。宇宙基本法以降、宇宙活動法や、小林大臣と努力して成立させた宇宙資源法などだ。今こそ、なぜ宇宙なのか、なぜ月面なのかを再確認し共有したい。それは、単に夢とか希望という、それはそれで必要な価値を超えて、ビジネスの可能性だ。月面産業ビジョンはその一つだ。このビジョンが共有され、本格的な宇宙利活用時代になることを目指していきたい。

第49回衆議院選挙を終えて聞き手：今回の選挙も公務で地元に戻れない選挙戦となった。更にコロナ対策で、異例の選挙様式となった。振り返って感想を。大野：前回選挙では主に北朝鮮ミサイル対応という危機管理の任務で期間中の半分以上が拘束された。今回こそはと思っていたが、今回も3割程度地元を離れる選挙戦となった。選挙とは、期間を通じて有権者の皆様に思いを伝え、等身大の姿を評価いただく機会だと思っただけに、忸怩たる思いだ。コロナ対応にしても、感染拡大の傾向には無かったものの、集会にご参加頂くこと自体、恐縮するものであった。二度と経験したくない選挙戦であった。今回、過去最高の得票率を頂いたが、投票というものは、投じるか投じないかの二元選択だ。皆様の思いの中には中間的なものもあつたはずだ。そうした投票数には表れない皆様の思いをどれだけ想像でき、思いを馳せられるかが、政治家にとって重要なのだと思っっている。



岸田総裁から党公認証書を授与

中堅議員、4期目の覚悟聞き手：これまでの3期9年に巨る議員活動を振り返るとともに、4期目の決意を伺いたい。大野：初当選以来、政策一本やりで活動してきた。この間、党や政権の運営について有権者の皆さまから厳しいご意見を頂いてきた。この経験の結論は、どんな優れた政策でも、政治が国民意識から乖離し、信頼を失ったら、いかなる政策も実行できないということだ。これからは政策だけではなく、政

治をやっていききたい。依然として一部に残る旧態依然とした党の運営を近代化し、理解してもらえ政治、できれば納得いただける運営を目指していきたい。重要なことは、まだ我々政治家が、必ずしも信頼されていないということ。政治家自らがしっかりと認識し、そのことを有権者の皆様にお伝えし、信頼を得られるためにすべきことをしっかりと伝える事だ。昭和的な透明性とか襟を正すとかだけでは信頼を頂けるとは思えない。信頼頂ける仕組みを築く努力をしていきたい。

その上で、まずやるべきことは、第一に、コロナで疲弊した経済社会のてこ入れだ。大胆な景気対策、業種経済対策が必要だ。第二には、今後のコロナ第六波の可能性も含め、感染症だけでなく、災害や事故や海外からの経済的外交圧力など、あらゆる事態に備えた危機管理だ。第三に、日本の国力向上だ。日本の強みを伸ばし、弱みを解消し、産業構造を世界の潮流であるSDGs経営型に変えることで、成長が無駄撲滅かという二元論でしか語られなかった成長と分配の好循環を、新しい資金循環構造を創ることで実現していきたい。

4期目。これまで以上に全力で国の為、地域の為、挑んでいく。今後ともご指導ご鞭撻を賜りたい。



大野：初当選以来、政策一本やりで活動してきた。この間、党や政権の運営について有権者の皆さまから厳しいご意見を頂いてきた。この経験の結論は、どんな優れた政策でも、政治が国民意識から乖離し、信頼を失ったら、いかなる政策も実行できないということだ。これからは政策だけではなく、政

治をやっていききたい。依然として一部に残る旧態依然とした党の運営を近代化し、理解してもらえ政治、できれば納得いただける運営を目指していきたい。重要なことは、まだ我々政治家が、必ずしも信頼されていないということ。政治家自らがしっかりと認識し、そのことを有権者の皆様にお伝えし、信頼を得られるためにすべきことをしっかりと伝える事だ。昭和的な透明性とか襟を正すとかだけでは信頼を頂けるとは思えない。信頼頂ける仕組みを築く努力をしていきたい。

その上で、まずやるべきことは、第一に、コロナで疲弊した経済社会のてこ入れだ。大胆な景気対策、業種経済対策が必要だ。第二には、今後のコロナ第六波の可能性も含め、感染症だけでなく、災害や事故や海外からの経済的外交圧力など、あらゆる事態に備えた危機管理だ。第三に、日本の国力向上だ。日本の強みを伸ばし、弱みを解消し、産業構造を世界の潮流であるSDGs経営型に変えることで、成長が無駄撲滅かという二元論でしか語られなかった成長と分配の好循環を、新しい資金循環構造を創ることで実現していきたい。

4期目。これまで以上に全力で国の為、地域の為、挑んでいく。今後ともご指導ご鞭撻を賜りたい。



大野敬太郎支部長の活動に是非ご協力を！

大野敬太郎 WEB <http://keitaro-ohno.com/>

facebook

ポスター・後援会新聞・運営資金などでガッツリとサポートしたい！

ポスター掲示や新聞配布等につき、地域でお世話頂ける方を募集中です。また会費制のForumK 正規会員を随時募集中です(入会申込書有り)。詳しくは WEB カ事務所まで。

政治や経済などに関する勉強会に参加しつつスマートにサポートしたい！

西讃地域は太宝会、中讃地域は大志会として、地域や日本のあるべき姿をご来場いただいた皆様と共に議論する会です。奮ってご入会ご参加ください。

イベント情報や政治動向、大野の視点をタイムリーに知りスパッとサポートしたい！

時事問題や政治動向を独自の視点でいち早く不定期で皆様にメールニュースとしてお届けしております。入退会は自由で、もちろん無料です。ご関心のある方は是非お試し下さい。